

親子聖書日課

[日]「明けの明星」とは、バビロンであり、サタンのことです。サタンは元々、天使でしたが、神になろうとして陰府に落とされ、「墮落した天使」になりました。自分がしたいように生きる時、自分が神になるのです。常に主の前にへりくだりましょう。

[月]人間の計ることは実現しないことが多いですか、主が「計ることは必ず成り、定めることは必ず実現する」のです。その約束を信じて生きることが信仰です。「シオンの基を据えられたのは主である」と確信し、人に頼らず、主に頼りましょう。

[火]モアブの滅びは、その傲慢さに原因であり、当時の王座は、権力と残虐さの上に立っていました。しかし、「慈しみをもって立てられる」王座があります。心の王座を主に明け渡す(救い主を信じる)時、まことと正義に溢れ、平安が与えられます。

[水]神の民も、「神を忘れ去り」ました。主を忘れると、自己中心になり、心は砂漠のようになります。その反対に、主に心を留めると、心は満たされ、神中心になります。この世のことは忘れても、主のことだけは忘れないよう、御言葉に聴従しましょう。

[木]主は天の高い所で、黙しておられるだけでなく、裁きの時を備えておられます。悪い実を切り落とされ、捨てられます。ですから、日頃から良い実を結ぶために、しっかり主の言葉に聴き従い、教会に繋がりましょう。必ず、豊かな実を結びます。

[金]主を信じないエジプトは、隣人愛が失われ、争いが起こり、内戦状態に陥りました。それは、無神論が浸透し、モラルが低下し、治安が乱れている現代社会に当てはまります。主を信じ、主の愛に生きるなら、「よろめかされる」ことはありません。

[土]神に敵する民も、神の愛を裏切り続ける民も、神から見るなら愛すべき「わが民」「わが手の業」「わが嗣業」でした。全人類は、神に造られた神の家族ですから、争ってはいけません。イザヤは、主の思いを伝える為に、3年間裸で歩きました。



©fumina

NO.1892 2024.12/29-2025.1/4 名前

	聖書	問題	答え
日	イザヤ 14:1-23	ああ、お前は天から落ちた、何の星ですか。	
月	14:24- 15:9	わたしの計ることは必ずどうなりますか。	
火	16:1-14	王座が何をもって立てられましたか。	
水	17:1-14	お前は救い主である神をどうしましたか。	
木	18:1-7	私は黙して私の住む所からどうすると、主は言われましたか。	
金	19:1-15	主は彼らの間に何を注がれました。	
土	19:16- 20:6	イザヤは何年間、裸、はだしで歩き回りましたか。	
感想と祈りの課題			

